

# 認知症専門部会事項

## ア 令和7年度練馬区認知症施策の 主な取り組み報告

- (1) 認知症月間の取り組み
- (2) 若い世代への認知症の理解普及の取り組み

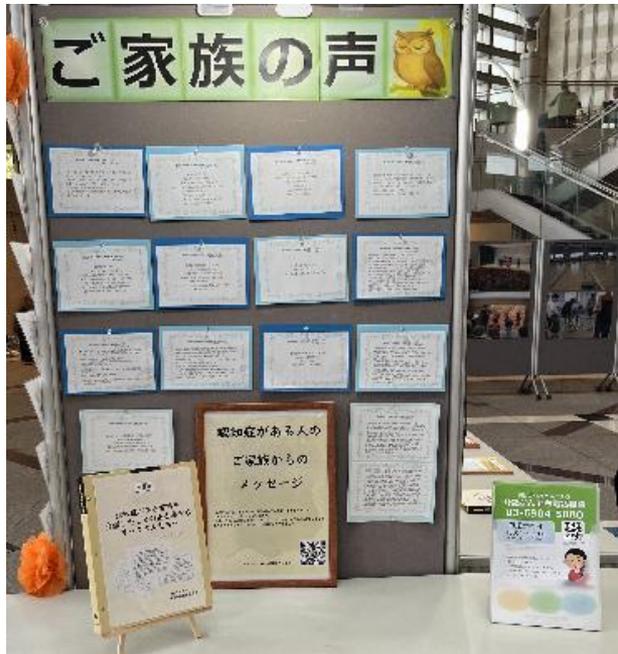
# (1) 認知症月間の取り組み

「新しい認知症観」の理解・普及  
認知症のある人やご家族の声を伝える

**新しい認知症観**とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。(認知症施策推進基本計画 前文より)



# 2-1 パネル展 “声でつたえるそれぞれの思い”



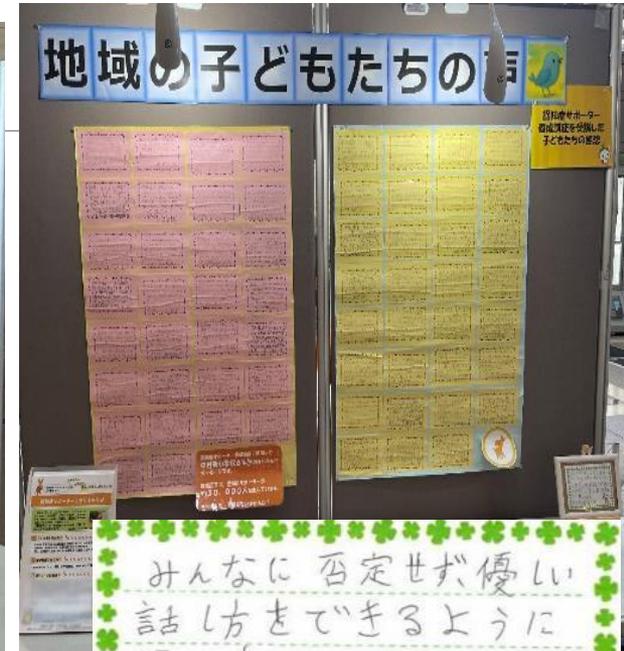
## ご家族の声

ご家族のメッセージ  
認知症カフェ、家族会のマップ  
ロバ隊長のおさんぽマップ



## ご本人の声

川柳  
ご本人のメッセージ  
チームオレンジ活動の紹介



みんなに否定せず優しい  
話し方をできるように  
なりたいと思いました。  
サポーターになれてうれしい  
です。

## 子どもたちの声

認知症サポーター養成講座を  
受講した子どもの感想文

日時 : 令和7年9月8日(月)から16日(火)まで  
場所 : 練馬区役所本庁舎1階 アトリウム

## 2-2 パネル展 “寓話でつたえるそれぞれの思い”

【忘れんぼうの森の時計 ～練馬区オリジナルストーリー～】

忘れんぼうの森に、時を刻む古い時計がありました。  
この時計は、時々時間を間違えたり、針が止まったりしました。

でも、森の動物たちは誰も怒りませんでした。  
「この時計があると、ゆっくりできるね」  
「今は何時か分からないけど、みんなでお茶を飲もう」

ある日、若いリスが言いました。  
「この時計、壊れてるんじゃない？」

すると、年老いたフクロウが静かに答えました。  
「壊れているんじゃないよ。違う時間を生きているだけさ」

森の時計は、正確さよりも、優しさを教えてくれました。



# 3 講演会 認知症フォーラム

日時 : 令和7年9月20日(土)  
場所 : 練馬区役所地下多目的会議室  
講師 : 犬丸 秀雄氏  
(城北さくらクリニック院長)  
申込 : 87名(定員100名)  
参加者 : 75名(アンケート回収率 72%)  
約92%の方が、講演を良かった・  
やや良かったと回答

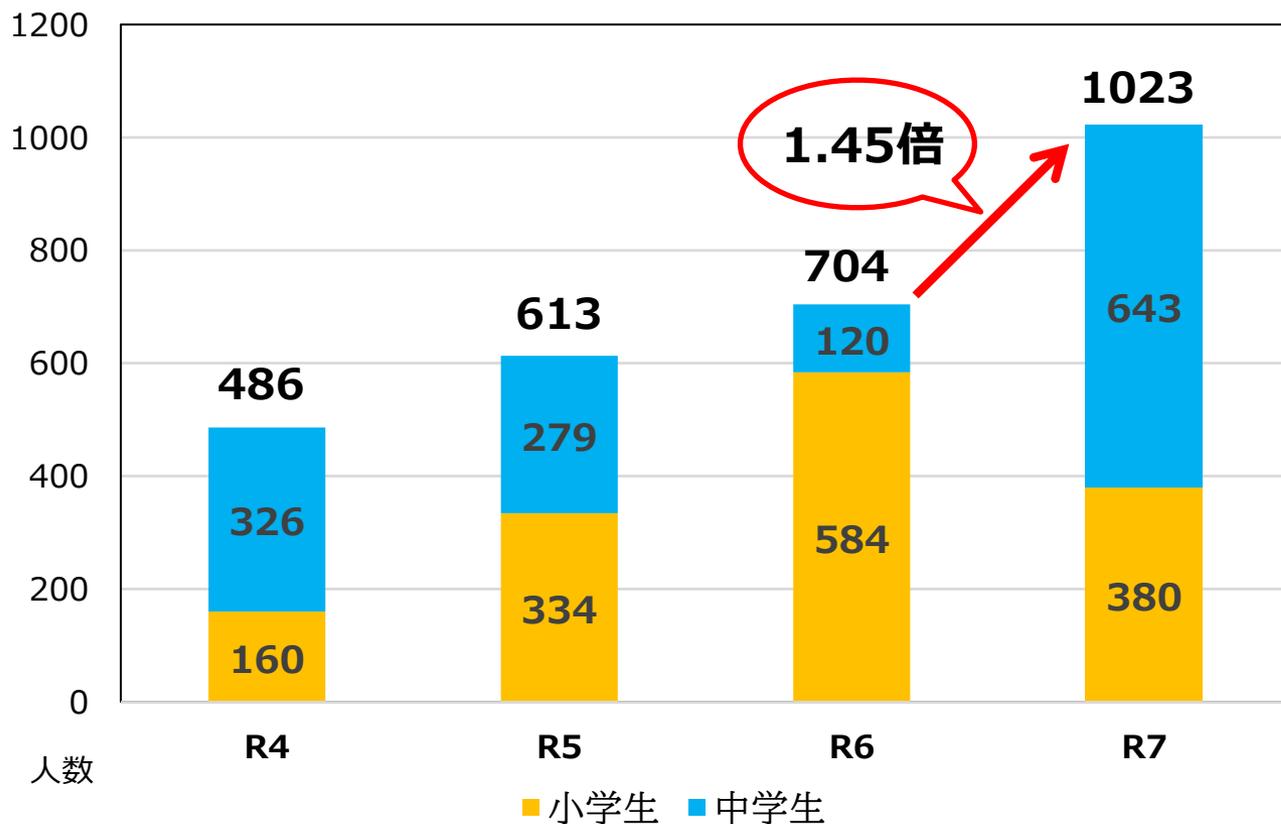
主催 : NPO法人 認知症サポートセンター・ねりま  
共催 : 練馬区高齢者支援課

## (2) 若い世代への認知症の理解普及の取り組み

小学生から高校生までの  
若い世代に向けた認知症教育の推進

# 1 小・中学校での認知症サポーター養成講座

## 小・中学校での認知症サポーター養成講座開催実績



今年度は**1,000**名以上が小・中学校で受講しており、昨年度の受講数を大きく上回っています。

## 2 小学生向け認知症サポーター養成講座（区主催）

冬休み特別企画！小学4、5、6年生のみんな集まれ！

# 認知症 サポーターになろう！

認知症(にんちしょう)サポーターは、  
認知症の人のことを知って、  
温かい目で見守る人のことをいいます。  
認知症の人のことを勉強して、  
みなさんも自分にできることを考えてみましょう。

参加費  
無料

令和8年  
1月6日(火)  
13時30分から15時

会場 練馬区役所本庁舎20階 交流会場  
(豊玉北6-12-1 練馬駅から徒歩5分)

対象 小学校4年生、5年生、6年生と保護者（30組）  
※児童のみの参加もできます！

講師 桜台地域包括支援センター 矢形 裕美 氏

申込 令和7年11月21日（金）から  
電話または右の二次元コード



参加証

練馬区オリジナル認知症サポーターカード



お礼のノート



問合せ・申込み  
練馬区高齢者支援課  
在宅介護支援係  
☎03-5984-4597

日時：令和8年1月6日（火）

場所：練馬区役所交流会場

講師：桜台地域包括支援センター長

参加者：子ども8名、保護者6名、

見学者12名

※小学生向けの講座の組み立てなどを勉強するため、  
地域包括支援センターの職員が見学に来られました。

結果：理解度（わかりやすかった）

100%（子ども）

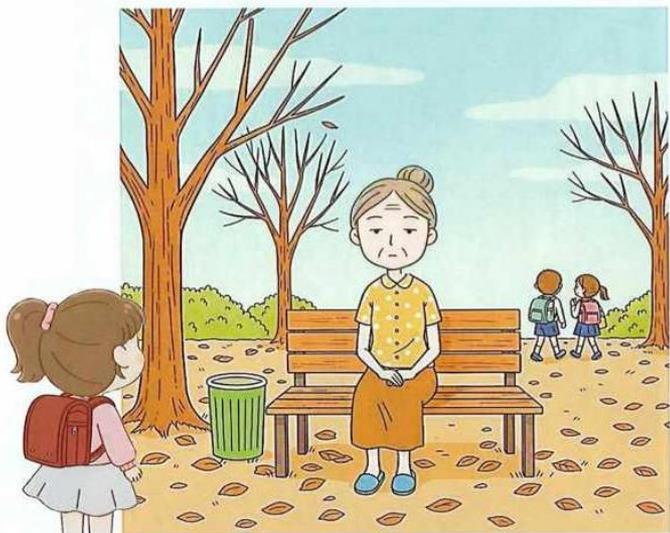
100%（保護者）

練馬区内の全小学校にチラシのデータを送付し参加者を募集しました。

# 小学生向けカードゲーム

あなたは登校中です。

冬の朝8時頃、通学路のベンチに座っている、スリッパ履き・上着なしの女性（70代前後）を発見。声をかけると「ちょっと一人でいたい。大丈夫ですよ」とのこと。地域包括支援センターはまだ開いていません。



**YES**

学校の先生に伝える

**NO**

学校の先生に伝えない



講師お手製の「YES」「NO」カードにより、参加型の講座となった。

N-improを小学生向けにアレンジして実施しました。

# 3 アクティブサポーターの活動

中高生が講師をします！  
学生と一緒に地域について  
考えませんか？

学生ボランティア × 地域包括支援センター

## 認知症 サポーター 養成講座

2025年8月1日 金

開催時間 14:30～16:00

開催場所 高野台地域集会所

参加無料  
定員30名

熱中症警戒アラートが発令された際には、中止となる場合があります。

申込み：①電話 ②QRコード

①練馬区moi（モイ）地域包括支援センター  
03-3996-0330 担当：鈴木

アクセス  
高野台地域集会所  
高野台3-28-11

②QRコード

運営  
区内在住・在学中の中学生  
練馬区地域包括支援センターが「アクティブサポーター」を育成し、地域包括支援センター、  
練馬区高野台地域包括支援センター、練馬区高野台西地域包括支援センター、  
練馬区石神井地域包括支援センター、練馬区moi（モイ）地域包括支援センター



認知症サポーター養成講座  
で講師をした学生に「アクティ  
ブサポーター活動証」を発行  
しました。

練馬区認知症アクティブサポーター  
活動証

練馬 太郎 殿

あなたは練馬区認知症理解普及促進事業に  
資する取り組みに参加し共生社会の一員とし  
ての大切な一歩を踏み出しました

あなたの取り組みを称え「練馬区認知症アク  
ティブサポーター」としてこれからの活躍を  
期待します

令和 年 月 日

練馬区高齢施策担当部長

石神井基本地区の4包括と、ボランティアセンター、  
学生、区が協働して開催しました。